

デザインについて調べる



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

目 次

- 1 基本的な知識を得る
 - (1) 「デザイン」の意味を調べる
 - (2) 歴史について調べる
- 2 分野ごとに調べる
 - (1) 文字のデザインについて調べる
 - (2) 色彩のデザインについて調べる
 - (3) 空間のデザインについて調べる
 - (4) 文化のデザインについて調べる
- 3 インターネットやデータベースを調べる

街で目にする広告からウェブページ・身の回りの製品に至るまで、私たちの日常はさまざまなデザインに囲まれています。

今回の調べ案内では、多彩な「デザイン」の知識を得ることのできる資料を、4つの分野におけるデザインに注目して紹介します。

キーワード例：

デザイン／意匠／設計／グラフィックデザイン
／プロダクトデザイン／ユニバーサルデザイン
／色彩／広告／コマーシャル／ポスター／など

アイコンの説明



参考図書
(館内利用)



図書



インターネット情報

1 基本的な知識を得る

最初に、デザインとはどのようなものか確認します。「デザイン」という言葉の意味や歴史など、基本となる知識を学ぶことで、その後の調査内容をより深く理解することができます。

(1) 「デザイン」の意味を調べる



『世界大百科事典』全 34 巻 (平凡社 2005)

総項目数 40 万以上を誇る有数の百科事典。各分野の項目や図版を幅広く収録し、さまざまな事柄の意味を学習できる。



『現代デザイン事典』(マイケル・アルホフほか編 鹿島出版会 2012)

あらゆるデザインの現場で使われる用語を、共通認識としてまとめた一冊。図としての形式ではなく、言葉でデザインの世界を紹介している。

(2) 歴史について調べる



『デザイン事典』(日本デザイン学会編 朝倉書店 2003)

世の中を彩ってきた数々のデザインを時代別にその変遷とともに収録。「デザイン」とはどのようなものか系統別に取り上げ、それぞれの名作を紹介する一冊。



『デザイン歴史百科図鑑』(エリザバス・ウィルハイド編 原書房 2017)

各時代に製作された製品のデザインや、工業の発展に関する時代背景について紹介する。実際の製品を写真で収録し、当時の最先端を行くデザインを一覧できる。

2 分野ごとに調べる

ここでは、実際に作られたデザインの調べ方を紹介します。

今回はデザインの参考となる辞典・事典類や図書について、4つの分野に厳選して紹介します。

(1) 文字のデザインについて調べる



『日本タイポグラフィ年鑑 2020』

(日本タイポグラフィ協会編 パイインターナショナル 2020)

400点を超える作品を掲載した、タイポグラフィによるデザインの流行を語る一冊。シンボルマークやピクトグラムなど、文字デザインを通じた多彩な表現方法を紹介する。



『カリグラフィー辞典』(ローズ・フォルサム著 一寸社 1998)

美しく文字を魅せる技法・カリグラフィーの作品を紹介する一冊。200点を超える図表とともに、発展の歴史や各書体の構造を解説する。

(2) 色彩のデザインについて調べる



『定本 和の色事典』(内田広由紀著 視覚デザイン研究所 2008)

1000色以上の種類を誇る、日本特有の色合いや名称で表現される「和」の色を調べることができる事典。平安時代の延喜式と呼ばれる36色の、色見本や染料の配合量を収載している。



『色の百科事典』(日本色彩研究所編 丸善 2005)

「色」に関する情報を網羅的に収載した事典。用語辞典、色名辞典、色彩学概説、資料集成などの項目に分かれており、基礎から専門的な内容まで多彩な知識を得ることができる。



『配色の教科書』(城一夫監修 パイインターナショナル 2018)

歴史に残る絵画や名言などから色彩感覚を捉える一冊。視覚で感じるデザインに適した色の組み合わせとはどのようなものか、偉人たちが活用してきた色彩を用いて図版で解説する。

(3) 空間のデザインについて調べる



『インテリアの百科事典』(日本インテリア学会編 丸善出版 2016)

日常生活を彩るインテリアの製作に関する知識を体系的にまとめた一冊。空間を構成する「場」のデザインについて、建築工学や法律など多角的に紹介する。



『かたち・機能のデザイン事典』(高木隆司〔ほか〕編 丸善 2011)

あらゆるものの「かたち」を構成する要素を、科学・技術・文化の3つの視点から解説する一冊。実現可能な「かたち」のデザイン製作に対する知見を得ることができる。

(4) 文化のデザインについて調べる



『ファッション大辞典』(吉村誠一著 織研新聞社 2019)

約16500語を収録するファッション文化の総合辞典。販売・流通に関する専門用語や若い世代で使われる流行語なども収録している。



『印刷見本帳』(印刷学会出版部編 印刷学会出版部 2004)

様々な印刷技法を収載した、印刷物を製作する際に参考となる資料集。実際に紙へ印刷された際の質感を体感することができる。



『日本デザイン書道名鑑 2001』(アートバンク 2000)

毛筆での文字デザインを行うデザイナーとその作品を掲載した一冊。筆ならではの特徴を活かした書体を多数紹介する。

3 インターネットやデータベースを調べる

ここでは、実際の作品や製作者を調べるためのインターネット情報やデータベースを紹介します。



《ART PLATFORM JAPAN》

(<https://artplatform.go.jp/ja> 国立アートリサーチセンター)

近現代の日本における芸術作品や美術館についての情報を発信するウェブサイト。各館の収藏品や日本で行われた展覧会の開催情報等を検索することができる。



《WHO'S WHO》

(<https://whoswho.jagda.or.jp/> 日本グラフィックデザイン協会)

日本グラフィックデザイン協会が運営する、デザイナーの作品が掲載されたデータベース。キーワードや作品の形態、都道府県等で検索ができる。



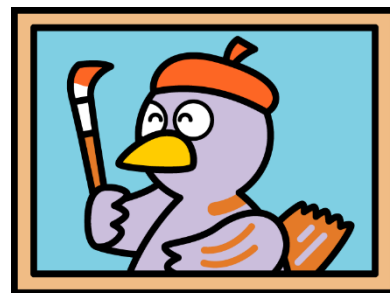
《デザインノトビラ》(<https://school.japandesign.ne.jp> 株式会社 JDN)
日常生活に関わる製品の実例から美術の専門学校まで、多彩なデザインの情報を紹介したウェブサイト。カテゴリー別にイベントや学校の学科を紹介している。



《JAPANEDESIGNERS》(<https://japan-designers.jp> 日本デザイン団体協議会)
日本のデザイナーたちが製作した美術・工業作品を紹介するウェブサイト。実際にデザインする対象や受賞歴等からデザイナーを検索できる。



《国立国会図書館サーチ》(<https://iss.ndl.go.jp/> 国立国会図書館)
国立国会図書館の所蔵資料や全国の公共図書館等が所蔵する資料を検索できるウェブサイト。調べ方のヒントやデジタルアーカイブを公開しているサイトの紹介を行っている。



埼玉県マスコット
コバトン



埼玉県立図書館
ウェブサイト QR コード

発行：埼玉県立久喜図書館 芸術・文学資料担当
久喜市下早見 85-5 Tel:0480-21-2659